殺虫殺菌剤
硫黄・銅水和剤

クリーンワイド®フロアブル

農林水産省登録　第24851号
性状：淡緑色水和性粘稠懸濁液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物：非該当
有効年限：5年
包装：500mℓ×20

有効成分：硫黄・・・・・・・・・12.5%
塩基性塩化銅・・・・・30.5%
（銅として・・・・・・17.5%）

殺虫剤分類	UN
殺菌剤分類	M2、M1

クリーンワイド®はサンケイ化学(株)の登録商標です。

特長

○糸状菌や細菌性病害、サビダニやホコリダニに効果を示し、広いスペクトラムを有する殺虫殺菌剤！
○硫黄と銅を合わせることで、相乗的に作用し、菌糸の伸長生長、胞子形成や発芽を阻害！
○耐性菌発達リスクが低い！
○薬液調製時の泡立ちがなく使いやすい！
○人畜に対する安全性が高く、使用回数制限がない！
○有機栽培農産物生産に使用できる！

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	硫黄を含む農薬の総使用回数	銅を含む農薬の総使用回数
なす科果菜類 ※1（なす、トマト、ミニトマト、ピーマンを除く） うり類 ※2（きゅうりを除く）	うどんこ病	500倍	100～300ℓ	収穫前日まで	ー	散布	ー	ー
ピーマン	うどんこ病 斑点病 チャノホコリダニ							
さやえんどう	うどんこ病 褐紋病 褐斑病							
なす	うどんこ病 すすかび病 チャノホコリダニ							
トマト ミニトマト	うどんこ病 葉かび病 すすかび病 疫病 トマトサビダニ							
きゅうり	うどんこ病 べと病 褐斑病 斑点細菌病							
てんさい	褐斑病							

※1及び※2は以下の作物が該当します。
※1：食用ほおずき、甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、とうがらし、ハバネロ、ピーマン、ピカンテ
※2：うり類(成熟)…かぼちゃ、すいか、漬物用すいか、メロン、漬物用メロン、まくわうり、漬物用まくわうりが該当しますが、ノーネット系メロン及びまくわうり、漬物用まくわうりは薬害が生じる可能性がありますので使用しないでください。
うり類(未成熟)…赤毛うり、きゅうり(花)、食用ひょうたん、食用へちま、しろうり、ズッキーニ、ズッキーニ(花)、とうがん、にがうり、はやとうり、ゆうがお

使用上の注意事項

●使用前によく振ってください。
●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
●石灰硫黄合剤等アルカリ性の薬剤との混用はさけてください。
●うり類に使用する場合は薬害を生じやすいので、次の事項に十分注意してください。
①幼苗期は薬害を生じやすいため、なるべく生育中期以降に散布してください。
②高温時の散布は薬害を生じやすく、症状が激しくなることがあるため散布はさけてください。
③過度な連用はさけてください。
④ノーネット系メロン（プリンス等）、まくわうりでの使用はさけてください。
⑤きゅうりに使用する場合は、黒いぼ系きゅうりでは薬害を生じるおそれがあるので使用に当っては注意してください。
●さやえんどうに使用する場合は、高温多湿時は薬害を生じやすいため、気温の高い時期の使用は注意してください。
●蚕に対して影響を及ぼすおそれがあるので、養蚕で使用する桑葉にかからないようにしてください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
●本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
●散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。